



これから相談員を目指す方へ

女性相談支援員新任(養成)研修 ～必要な知識及び技能の基礎～

対象：相談支援員希望者、実務経験概ね2年未満の相談支援員
女性支援に関心のある方、行政職員

受講無料

お申込みはこちら



<https://x.gd/nC6xC>

※同じプログラムを県内4か所で開催！（全5コマ）

名護市

1日目：7/3(木)
2日目：7/4(金)

名護市労働福祉センター
3階 会議室1
★定員30名

※北部福祉事務所から変更となりました。

石垣市

1日目：7/15(火)
2日目：7/16(水)

沖縄県八重山合同庁舎
2階 大会議室
★定員30名

那覇市

1日目：8/20(水)
2日目：8/22(金)

沖縄県共同参画センター
3階 研修室
★定員50名

宮古島市

1日目：8/27(水)
2日目：8/28(木)

沖縄県宮古合同庁舎
3階 会議室
★定員30名

※2階講堂から変更となりました。

1日目 9:30～事務連絡及び、研修の説明

① 9:35～11:35 (受付9:00)

「女性相談はなぜ必要か」(動画視聴)

- DVの構造
- ジェンダーに基づく暴力とは
- あなたの中のバイアスに気づく など



講師：松本 和子氏 (NPO法人女性ネットSaya-Saya 共同代表
社会福祉士・精神保健福祉士)

精神科ソーシャルワーカーとして勤務後、2000年6月、DV等暴力被害女性の民間支援団体女性ネットSaya-Sayaを開設。現在NPO法人女性ネットSaya-Sayaで、カウンセリング、及びサポートグループ、びーらぶなどを担当。2020年より、自治体の児童相談所にて、女性のDV相談を始める。令和6年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞。

② 13:00～15:00

「沖縄文化における「家」とジェンダー」

- 歴史的・構造的背景を学ぶ
- セクシュアルマイノリティの複合的課題

講師：山城 彰子氏 (女性史研究者・ていーだあみ共同代表)

那覇市生まれ那覇市育ち。琉球大学で琉球史を学び、卒業後は自治体史編さんの現場で働く。研究テーマは近世琉球の家と女性。2013年から2016年までピンクドット沖縄実行委員。2015年からていーだあみ共同代表として、性の多様性に関する啓発講座の講師をつとめる。

③ 15:10～17:00

「女性相談支援員の役割と連携
～つながる機関、つなげる役割について～」

講師：知念 千秋氏 (沖縄県こども未来部
女性相談支援センター 相談班長)

2日目

④ 9:30～12:00 (受付9:00)

「相談員の基本を学ぶ」

- 相談の目的と支援
- 心に寄り添うコミュニケーションとは？
- 実際の対応(ワーク) など

講師：倉 ますみ氏 (精神保健福祉士・社会福祉士)

いのちの電話相談員や人権・環境教育の啓発及びベトナム難民家族支援主催。青年海外協力隊にて南米の環境教育及び貧困地区のソーシャルワーク、(株)NTTデータ(合併)上海で人材育成に携わる。帰国後、女性の労働相談やDV相談・支援職を経て、NPO法人おきなわCAPセンターにて活動中。

⑤ 13:30～15:30

「相談業務の実例とメンタルヘルスケア」

- トラウマと二次受傷 など

(名護市) (石垣市)

講師：早田 真吾氏 (天久台病院心理室室長・公認心理師)

(那覇市)

講師：比嘉 紀枝氏 (沖縄県公認心理師協会 被害者支援担当理事)

(宮古島市)

講師：国生 まゆみ氏 (沖縄県公認心理師協会 副会長)

15:30～16:00

- レポート・アンケート記入

※諸般の事情により、プログラム等が変更となる可能性があります。



〔修了証交付要件〕次の①～③全てを満たした方

- ①全5コマすべての講座を受講すること
- ②受講した講座全てのレポート及び全体を振り返ってのレポートを提出すること
- ③受講終了後アンケートを提出すること

交付は12月を
予定しています。

